

「地区防災ガイドの改定について」に寄せられた意見と検討結果

【パブリックコメント実施期間】 平成30年2月16日（金）から平成30年3月16日（金）まで

【担当部局】 総務部総務課危機管理担当

【意見提出者】 6人

【意見件数】 19件

【意見への対応】	採 用	： 意見に基づき原案を修正するもの	8件
	一部採用	： 意見に基づき原案を一部修正するもの	1件
	不 採 用	： 意見を原案に反映しないもの	1件
	記 載 済	： 既に原案に盛り込まれているもの	0件
	参 考	： 原案に盛り込めないが今後参考とするもの	4件
	そ の 他	： ご質問・ご意見として伺うもの	5件

【意見の検討経過】 平成30年3月16日～3月26日 当課及び関係部局において意見の検討及び検討結果（案）の作成
平成30年3月30日 関係部局に合議のうえ、市長決裁にて最終決定

「石狩市地区防災ガイド」に寄せられた意見と検討結果

No.	意見の要旨	検討結果	検討内容
1	地区防災ガイドP14の一文「ただちに安全な場所へ避難しよう」については、津波避難時の行動であることから、「ただちに安全な高い場所へ避難しよう」に変更し、「安全な高い場所」を朱書きとしてはどうか。	採用	より理解しやすい地区防災ガイドにするため、頂いたご意見のとおり修正します。
2	地区防災ガイドP18の冒頭の一文に「あらかじめ、身近で安全な高い場所を確認しておきましょう」と追記してはどうか。	採用	より理解しやすい地区防災ガイドにするため、頂いたご意見のとおり追記します。
3	地区防災画ガイドP18一文に「津波が陸地を駆け上がることを遡上といい」については、「津波が陸地と川を駆け上がることを遡上といい」に変更してはどうか。	採用	より理解しやすい地区防災ガイドにするため、頂いたご意見のとおり修正します。
4	次の改定に向けては、津波と洪水が重なった最悪の事態を想定する必要があるのではないかと。	参考	津波と洪水の浸水想定を公表している国や北海道の動向を注視していきます。今後の取組みの参考とさせていただきます。
5	避難所については、町内会の単位に係らず個人の判断で身近な避難所へ避難しても良いことを明記してほしい。	採用	災害時は、その時々状況に応じた適切な避難が求められるため、地区防災ガイドP14の注目欄に「災害発生時は、その時々状況に応じて最寄の避難所を利用しよう。」と追記します。
6	南花畔通に平行して流れている川は災害時に氾濫することを考えていないのか。これについても考えてほしい。	参考	南花畔通に平行して流れている川は、雨水が流れる下水路（屯田都市下水路）であり、他の下水路と同様に大雨による内水氾濫の可能性があります。内水氾濫については、一般的に浸水深が床下程度と考えられるため地区防災ガイドに反映しておりません。しかしながら、近年、短時間で局地的な雨が降る

No.	意見の要旨	検討結果	検討内容
			傾向もありますことから、頂いたご意見については今後の取組みの参考とさせていただきます。
7	地区防災マップの防災の心得に「情報収集手段の確認！」とありますが、どのように確認したら良いのでしょうか？	その他	地区防災ガイドP13に災害時に情報を得るための6つの方法について記載をしておりますので確認をお願いします。また、不明な点につきましては、石狩市総務部総務課危機管理担当まで問合せをお願いします。
8	日中は家族各々が別々の場所にいるため、地区防災マップに家族各々の避難先等を記入できれば良いと思われました。	採用	地区防災マップをご家族で利用して頂けるよう、地区防災マップに「家族のルール」欄を設けますので、家族各々の避難先等について記入して頂きたいと思えます。
9	冬季間の災害についての視点が欠けている。冬季間の対策について別にページを設ける等して記載するべきではないか。	参考	冬季間の留意点については、地区防災ガイドP16に「冬季の避難所は冷え込みます。十分な寒さ対策をしましょう。」また、地区防災ガイドP19に「冬季の暴風は、雪を伴った暴風雪となり、屋外での視界が悪くなります。暴風雪の時は、不要な外出は控えましょう。」と記載しているところです。今回は冬季間について主だったページ構成とはなっておりませんが、頂いたご意見は大切な視点だと考えており、ホームページや町内回覧などにより周知を図るとともに、今後の取組みの参考とさせていただきます。
10	お風呂の残り湯を溜めておくことや新聞紙やダンボールを溜めておくなど、日常生活の中での小さな心得を記載してはどうか。	採用	減災の意識を高めるためには、日頃からの備えが大切なことから、地区防災ガイドP15に「断水に備えて、お風呂の残り湯を溜めておくなど、日常生活でできることからはじめよう。」を追記します。

No.	意見の要旨	検討結果	検討内容
11	町内会に求めている自主防災活動に関する記述が無いのは何か理由があるのか。	その他	市民の皆様へ自主防災活動への参加を促すため、地区防災ガイドP16に「町内会や自治会の自主防災組織で行なわれる防災訓練に参加してみよう。」と記載しているところです。また、自主防災組織は、地域防災力の根幹となる活動であることから、各町内会等に対して、自主防災組織の取組みや体制の強化について周知・啓発を行って参ります。
12	花川北地区の地区防災マップについて、地図が小さいため、凡例文字の判読や自宅の位置確認がしにくい。また、図上に凡例が込み合っているため解りにくい。地区防災マップと同じサイズの透明なシートに凡例を記入し、地区防災マップと重ね合わせて使用するようにはどうか。	一部採用	パブリックコメントで配布した地区防災マップの用紙はA3(297mm×420mm)でしたが、実際に全戸配布する際にはB3(364mm×515mm)での配布となり、一回り大きくなります。透明なシートを作成することは想定しておりませんが、凡例の表示や位置を見やすくなるよう一部修正します。また、見えにくい等の市民の皆様からのご質問等については、個別に対応するなど、全ての方が地区防災ガイドを理解できる環境づくりに努めて参ります。
13	避難方向は良くわかるが、避難場所への道路が確認しにくいので、主要な道路は着色をしてはどうか。	採用	避難場所への道路が確認しやすくなるよう、道道やバス通りなどの主要な道路について着色を行います。

No.	意見の要旨	検討結果	検討内容
14	ますます多くなる高齢者に優しいものができるとう嬉しい。	その他	地区防災ガイドの作成にあたっては、視覚や聴覚の障がいをお持ちの方や小学生など、広く市民の皆様にご利用して頂けるように、可能な限り文字の大きさや色使い等を配慮して作成しております。しかしながら、限られたスペースで必要な情報を掲載しているため、全ての方が見やすいと感じないことも想定されます。今後は、地区防災ガイドの大型本を図書館に設置する他、市民の皆様からのご質問等については個別に対応するなど、全ての方が地区防災ガイドを理解できる環境づくりに努めて参ります。
15	地区防災マップは、マップを見た後に「さらに詳しく理解したい」と地区防災ガイドを読みたくなる気持ちにさせるものにして欲しい。	採用	市民の皆様により理解して頂けるよう、地区防災マップに「地区防災ガイドをもう一度詳しく見てみよう!」と追記します。また、地区防災ガイドは多くの市民の皆様にご覧いただきたいと考えていることから、積極的に周知を図って参ります。
16	地区防災ガイド内の鳥瞰図は、表現が平面でないほか、図面が小さいため位置の特定が難しい。また、東西南北の方位が確認しにくいので、一般的な平面図に変更してほしい。	不採用	地区防災ガイド内の鳥瞰図については、主に市内全域における危険な場所を確認して頂くために作成しています。海から見た鳥瞰図にすることで、河川の流域や谷間などの地形を一目で確認して頂けるものとなっております。平面図による位置確認については、別添の地区防災マップをご利用頂きますようお願いいたします。
17	災害全般について、よく網羅されていると思います。	その他	市民の皆様にご覧いただき理解して頂けるよう、引き続き取組みを進めていきます。

No.	意見の要旨	検討結果	検討内容
18	冬の災害の場合について、避難が困難なケースがあると思います。特に留意する点を記載してはどうでしょうか。	参 考	<p>冬季間の留意点については、地区防災ガイドP16に「冬季の避難所は冷え込みます。十分な寒さ対策をしましょう。」また、地区防災ガイドP19に「冬季の暴風は、雪を伴った暴風雪となり、屋外での視界が悪くなります。暴風雪の時は、不要な外出は控えましょう。」と記載しているところです。</p> <p>頂いたご意見は大切な視点だと考えており、ホームページや町内回覧などにより周知を図るとともに、今後の取組みの参考とさせていただきます。</p>
19	花川北地区の洪水について、茨戸川の氾濫は考慮されていないのでしょうか。	そ の 他	<p>今回、地区防災ガイド及び地区防災マップで示した洪水浸水想定範囲については、茨戸川も考慮されたものとなっています。</p>